

令和2年度 継続研究課題

研究課題名	研究内容	採択年度 研究期間	研究機関名	研究代表者	連携消防機関等
地震火災時の不完全な覚知火災情報に基づくリアルタイム避難誘導支援に関する研究	大地震時の市街地火災を想定し、消防が覚知している火点からの延焼予測に加え、未覚知の火点や時間遅れで発生する火点による避難経路遮断のリスクを考慮して、安全な避難経路をリアルタイムに導出し、その情報をホームページ等へ表示することのできるシステムを開発する。	平成30年度 3年	国立大学法人 筑波大学	糸井川 栄一	東京消防庁
G空間情報とICTを活用した大規模防火対象物における防火安全対策の研究開発	大規模防火対象物において、G空間情報(屋内測位システム)やICTを活用し、在館者や消防隊員等の屋内位置情報を防災センター等で把握するとともに、スマートマスク(地図情報や赤外線画像等を表示できる面体)やタブレットにより現場の隊員と情報を共有し、効率的かつ安全に消防活動を行うためのシステムを開発する。	令和元年度 2年	一般財団法人 日本消防設備安全センター	木原 正則	さいたま市消防局 千葉市消防局
被服学的機能解析による活動プロトコルに即した救急隊活動服設計のエンジニアリング	救急隊員は、傷病者の搬送と救命処置を行うため、動きやすさ、温度調節、耐久性、感染防護等に優れた救急隊活動服を必要としている。救急隊活動服として求められている標準的な性能を研究し、デザイン、縫製法、布地等に関する設計指針を提供する。	令和元年度 2年	国立大学法人 信州大学	若月 薫	相模原市消防局 上田地域広域連合 消防本部
高粘度液体を用いた木造密集市街地及び伝統的建造物の消防技術の開発	木造密集市街地等の火災における燃焼抑制や延焼防止のため、建物に付着しやすく、少ない量でも消火効果の高い高粘度液体を使用した消火装置の設計・開発を実施する。	令和元年度 2年	学校法人 工学院大学	後藤 治	長野市消防局 糸魚川市消防本部